

宇都宮市 学校 情報教育 だより

～ 児童生徒の情報活用能力の育成やICTの効果的な活用についての情報を紹介します。 ～

研修 新学習指導要領と今後のICT機器の活用を考える

小学校において平成32年度より、中学校においては平成33年度より完全実施となる新学習指導要領（平成30年度先行実施）には、ICT機器の整備についての記載があり、小学校でのプログラミング教育についても触れられています。当センターでは、その全容を正しく理解するとともに、ICT機器を効果的に活用し授業力の向上を目的として、大学から先生をお招きし、教職員研修を行いました。

情報教育主任研修A

6/1



講師

東京学芸大学 高橋 純 先生

情報教育主任研修A 6/2

中央教育審議会の委員を務めるなど、ICTを活用した教育の最先端を知る東京学芸大学の高橋純先生をお招きしてお話を伺いました。

最初に新学習指導要領について、各教科等の特質に応じた見方・考え方から学びを深めることの大切さを教えていただき、学習指導要領の具体的な読み解き方を知る貴重な機会となりました。

ICT機器については、教師の発話を支援するものであり、道具として活用する術をしっかりと身に付けていかなくてはならない、とのお話が印象に残りました。情報を絞って見せるためのICT機器の使い方など、現場で即、役に立つ手法を示していただくとともに、一人一台のパソコンを活用する授業の例や、外国での活用を踏まえた最新の機器配備の方向性等についてのお話などを伺い、時おり考える時間を作って会場の先生方と会話をしながらの研修で、あっという間の時間でした。先生の講話中に「子どもたちの頭をフル回転」という言葉がありましたが、我々も頭がフル回転するすばらしいお話でした。

ICT活用授業力向上研修 6/26

教員として晃陽中学校に勤務された経験をお持ちの宇都宮大学 川島芳昭先生をお招きし、お話をいただきました。

こちらも新学習指導要領について、人工知能(AI)の進化がこれからの世の中に及ぼす影響など、その背景からお話を伺いました。

教育工学を専門とされる先生からは、プログラミング教育について、実際にパソコン上でソフトを動かして、図形を描き出すコードを実行して見せていただいたり、ディズニーキャラクターで学べるプログラミングサイト(hour of code)を紹介していただいたりしました。

一方で、川島先生は子どもたちの生活体験の不足についても心配されており、「アナログ対デジタルの構図を作っている、今後の教育は成り立たない」とのお話に対し、現場の先生方も大きくうなずいていました。先生方には、技能・技術の共有のためにもICTをぜひ活用してほしいとのお話で、大変参考になり、考えさせられる研修となりました。



ICT活用授業力 向上研修 6/26

講師

宇都宮大学 川島 芳昭 先生